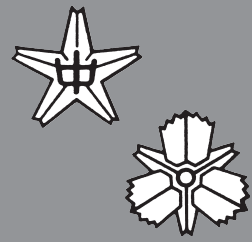


# 一泉

発行所  
〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10-10  
石川県立金沢泉丘高校内  
一泉同窓会  
電話 (076) 242-0211  
FAX (076) 216-5656  
2019(H31). 3. 31. 発行  
E-mail : issen\_knz@hotmail.com



## 創立125周年記念一泉総会・懇親会 1000人超えで母校の発展誓う 役員改選、清水会長5期目へ

一泉同窓会の創立125周年記念、平成30年度総会・懇親会が創立記念日の10月15日夜、金沢駅前のホテル日航金沢で開かれた。今年度の幹事期・泉丘37期は旧校舎で受験し、新校舎へ初めて入学したことから「繋げよう！一泉の絆を未来へ」とのテーマを掲げ、一中・泉丘の新旧多くの同窓生に参加を呼びかけた。4階「鶴の間」からロビーにまで溢れた1000人を超えた出席者は、母校の発展に協力し合うことを確認した。



昨年に続いて登場した母校合唱部の歌声で幕を開け、総会では清水義博会長（泉丘22期）が「わが校は厳霜碑の建立日をもって創立記念日としている」と125周年の意義を訴え、宮崎栄治校長は文武両道に励む後輩たちの様子を報告、同窓会員の母校への多大な支援に謝意を示した。

懇親会は37期の矢部篤雄君と松田純代さんが司会を務め、同期のフルート奏者・上野賢治君と横笛奏者・高橋雅枝さんの艶やかなコラボで幕を開けた。バックには映像作家・モリ川ヒロト君（34期）の優雅な作品も映し出された。続いて蚊谷八郎同窓会前会長（14期）の発声で乾杯してにぎやかな酒宴となった。歓談

同期生のフルートと横笛の艶やかなコラボ



タイムでは参加者たちは同期の仲間だけでなく、部活の先輩や後輩の席を訪れて縦糸の絆をも深め合った。また、途中にはこの1年の母校と同窓会の活動報告がスクリーン上で紹介された。応援歌と一中・泉丘の両校歌は羽織袴に高下駄姿で登壇した広瀬靖久さん（16期）らのリードで感激の大合唱となった＝写真左＝。

恒例の幹事引継式で37期の村上啓太実行委員長がお礼を述べ、38期の連和彦同が「来年も楽しい同窓会にしたい」と決意表明した。最後に林隆信副会長（22期）が3本締めを行って閉会した。

### 4氏が退任し3氏新任

なお、総会の席上で役員改選が行われ、泉屋利郎（14期）、新村康二（18期）、小倉一郎（40期）の3副会長と澤田力雄監事（15期）が退任、新たに石山直哉（35期）と澁谷英利（36期）の両副会長と西井隆志監事（39期）が決まった。5期目となる清水会長ら再任を含めた新役員は次の皆さん（○印は新任。任期は2020年10月15日まで）。

◇会長 清水義博（泉丘22期）◇副会長 林隆信（同）、岡能久（20期）、温井伸（26期）、大砂雅子（同）、竹澤敦子（29期）、玉川昌範（31期）、至極明子（34期）、中村太郎（35期）、○石山直哉（同）、○澁谷英利（36期）、北川雅一郎（39期）、笠松寿美子（通信41期）◇監事 広多清一（泉丘29期）、○西井隆志（39期）◇事務局長 諸野普（22期）◇事務局顧問 中山一郎（10期）

## 地区同窓会だより



### 「富山一泉」20年ぶりに復活

設立総会と懇親会に88人

富山一泉同窓会の設立総会と懇親会が2月27日、富山駅北口の和食レストランで開かれ、出席した一中56期(87歳)から泉丘64期(25歳)までの88人が20年ぶりの復活を喜び、旧交を温めた＝写真＝。

富山一泉同窓会は昭和48年に発足、活動を続けていた。しかし、世話役の高齢化に伴い平成12年ごろから休眠状態となっていたが、近年、一泉同窓生が約500人と多くなり、同窓会の復活が強く望まれていた。

設立総会ではこれまでの経緯が説明され、議事で堀祐一会長(泉丘23期)ら12人の役員が満場一致で選出され、年1回の総会・懇親会の開催も決まった。

懇親会では堀会長が「多くの参加者を得、同窓生の繋がりや素晴らしさを再認識した」と改めてあいさつ、来賓の清水義博一泉同窓会会長(泉丘22期)が祝辞を述べ、正村泉一副校長が母校の近況を報告した。最後

母校は2023年に創立130周年を迎える。この節目の年を機に教育環境の一層の充実と同窓会活動の発展に寄与するため、昨年初秋に早々と記念事業準備委員会を立ち上げた。

130周年への取り組みは5月13日の30年度一泉同窓会代表委員会に提案され、準備委員会の設置、委員の選任などすべて同窓会役員会に一任された。役員会では8月末までに委嘱した21人の全委員の承諾を得、9月13日に金沢ニューグランドホテルで初会合を開いた＝写真＝。

ここでは準備委設立の趣旨・目的を相互理解、約2年間で5回の会合を持って事業内容を決め、同実行委員会に受け継ぐことにした。役員選出では委員長に清水義博一泉同窓会会長、代表副委員長に林隆信同副会長、事務局員に諸野普同事務局長らを決めた。

に校歌を高らかに斉唱、谷内正立副会長の「一中・泉丘はいつまでも我々の心のふるさとである」との名言の中締めと万歳三唱で散会となった。

会長以外の役員は次の皆さん。(全員泉丘) ◆副会長 谷内正立(同) ◆監事 滝野弘二(29期)、加藤高明 ◆顧問 岡本 仁(17期) ◆幹事長 高瀬幸紀忠(29期) ◆幹事 橋向隆夫、松野博明、山田義裕(以上29期)、高島哲史(34期)、今村栄夫(37期)、廣田明浩(38期)



トピックス

### 教育環境整備にと30万円

泉丘37期が母校に寄贈

泉丘37期の村上啓太代表と福田長太郎副代表、母校の矢部篤雄、多田裕子両教諭の4人が12月7日、校長室を訪れて宮崎栄治校長に「教育環境整備に役立てて」と30万円を寄贈した＝写真＝。

さる10月15日、ホテル日航金沢で約1000人が出席して開かれた創立125周年記念一泉同窓会総会・懇親会の経費削減に努めて捻出したもので、宮崎校長は「皆さんの後輩たちのために有効に活用する」とお礼を述べた。

### 創立130周年に向け 記念事業準備委スタート 各界各層から21人を委嘱



12月19日、同ホテルでの第2回会合では、遠征用バス2台と文化部用ワゴン車1台の更新など少し踏み込んだ協議が行われた。

この後、新年度早々の4月中にも第3回目の会合を予定している。

#### 《130周年記念事業準備

#### 委員会の役員・委員名》

◇委員長 清水義博(一泉同窓会会長) ◇代表副委員長 林隆信(同副会長) ◇副委員長 大砂雅子(同) 竹澤敦子(同) 至極明子

(同) 中村太郎(同) 石山直哉(同) 澁谷英利(同) ◇委員 宮地治(泉丘23期) 小林真(27期) 中村和哉(30期) 植村まゆみ(33期) 川下英和(40期) 梅谷基樹(42期) 中西祐一(46期) 鶴山雄一(51期) 加藤次男(通信22期) ◇学校代表 宮崎栄治(校長) 矢部篤雄(教諭・泉丘37期) ◇事務局 諸野普(一泉同窓会事務局長) 中山一郎(同顧問)

## 関東一泉、過去最高の469人出席 幹事の39期がロゴ入りTシャツ姿

第60回（平成30年度）関東一泉同窓会総会・懇親会が10月27日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。当日は秋晴れに恵まれ、過去最高となる469人が参加した。泉丘39期幹事期のスローガン「Thank you, KANTO-ISSEN 曆還りて、原点に帰ろう」に沿って、幹事団員は60周年記念のロゴ入りTシャツを着用し、チーム一体感を醸し出して会場の雰囲気盛り上げた。金沢からは清水義博一泉同窓会会長（泉丘22期）、宮崎栄治校長ら10人が出席した。

泉丘39期の角田保君と笠井なおかさんの司会で総会の幕を開けた。北川秀二会長（同30期）の挨拶に続き、役員改選では監事を退任する山下哲之さん（同22期）の後任に堀浩明さん（同28期）を選任した。清水会長と宮崎校長が祝辞を贈り、母校の近況等を報告した。

懇親会は、オープニングビデオで60年間の世の中の流れと関東一泉を振り返り、最長老の古澤英雄さん（一中42期、101歳）発声の乾杯で幕を開けた。会場には「地酒コーナー」や「協賛先コーナー」が設けられ、故郷の味を満喫しながらピアノ演奏のもと会話が弾んだ。そして、関東一泉同窓会役員との全面的な協力で実現した芸人ねづちさんの演目では各テーブルからのお題に対する即興のなぞかけを披露、事前公募の川柳コンテストでは地元金沢ならではの秀逸な川柳の表彰に会場から大きな拍手が沸き上がった。

エンディングでは、縦糸企画として実現した37・38期共同での応援団のエールに続き、一中・泉丘の両校歌を熱唱した＝写真＝。エールと一中校歌では和太鼓を、泉丘校歌ではトランペット、ピアノの演奏で斉唱し、



出席者も渾然一体となった盛り上がりを見せた。39期比良浄敬代表幹事のお礼挨拶に引き続いて、次年度の第61回を担当する40期坂次哲也代表幹事が決意表明した。最後に中嶋敦史関東一泉同窓会副会長（同33期）の閉会の辞と3本締めにより、来年の同窓会での再会の約束を交わし散会した。（山本司＝泉丘39期・記）

## 中之島へ会場を変えて開催 38回目の関西一泉、83人出席



平成30年度・第38回関西一泉同窓会の総会・懇親会が6月9日午後、大阪市北区中之島の中之島フェスティバルプラザ2階の「ROAST」に会場を変え、83人が出席して開かれた。金沢からは清水義博本部長（泉丘22期）や宮崎栄治校長、恩師の村上哲夫先生ら8人に加え今秋の一泉同窓会総会・懇親会を運営する泉丘37期の村上啓太実行委員長ら9人も特別参加して懇親会の賑わいに花を添えた。

昨年に続いて中村嘉克君（同35期）と中村明彦君（同37期）が司会、関西の宮本晴江副会長（同13期）が開会を告げ、片瀬貴文会長（一中55期）があいさつ、清水本部長が祝辞を述べ、宮崎校長が母校の近況を紹介、恩師の村上先生も招かれての謝辞を述べた。続いて最年長の太田忠夫さん（一中55期）の乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。

恒例のふるさと銘菓が当たる抽選会では今年も岡谷雄二さん（泉丘19期）が名司会で笑いを誘い、会場が和やかな中で37期の村上実行委員長が「10月15日には金沢で待ってます」と一泉同窓会のPRを行った。最後に一中・泉丘の両校歌を合唱＝写真＝、関西の高橋初枝副会長（同4期）の閉会の辞で散会となった。

二次会は北新地の「珠洲」（通信12期の松尾ゆきえさん経営）で行われた。一次会会場から近いため約半数が参加、もう一度盛り上がった。

We can create a sustainable society for future generation.  
一般社団法人 MuU(漢字表記:無)MuU=Mutual Understanding

理事長 清水 義博 (一泉同窓会 会長 泉丘22期)

金沢市高尾台3丁目127番地  
TEL&FAX 076-296-2477

自動車販売・整備

キスモ株式会社

代表取締役社長 林 隆信 (一泉同窓会 副会長 泉丘22期)  
代表取締役専務 林 泰三 (泉丘54期)

本社 〒921-8043 金沢市西泉3丁目2番1号  
TEL (076)280-4455 FAX (076)280-0657

漆器の能作

代表取締役社長 岡 能久 (一泉同窓会 副会長 泉丘20期)  
相談役 海道 正人 (泉丘20期)

本店 〒920-0962 金沢市広坂1丁目1-60  
TEL (076)263-8121(代) FAX (076)263-8122



### 3 回目の白山一泉同窓会 80人参加でにぎやかに開催

白山一泉同窓会の平成30年度総会・懇親会が11月23日、同市のグランドホテル白山で開かれた。対象を白山市全体に広めての3回目の開催で、一中や泉丘初期の諸先輩の参加が少なかったが、市内の企業に勤務する同窓生も交え80名の集まりとなった＝写真＝。

総会では、青木桂生会長（泉丘13期）が「来年度は市制15周年を迎えるが、合併前の各地の歴史も大事にしながら、本同窓会としても白山市の新しい歴史構築の一翼を担っていききたい」とあいさつした。

続いて行われた講演会では、元石川県歴史博物館館長で母校の校長も務められた徳田寿秋氏（同12期）が、「加賀サムライたちの異国見聞録」と題して話された。

懇親会では冒頭、一泉同窓会の中村太郎副会長（同35期）が祝辞を述べ、正村泉一副校長が母校の現況などを報告した。中山幸昌監事（同9期）の音頭で乾杯し、初めての参加者や毎年の人も含め久々の再会や高

### しめやかに物故者慰霊祭

平成30年度の一泉同窓会物故者慰霊祭が創立記念日の10月15日の午後、母校・泉丘高校の厳霜碑前で行われ、参列した同窓会役員や学校関係者、各期代表など30人が亡き師や級友らの冥福を祈った＝写真＝。

石浦神社の長谷吉慶宮司の祝詞奏上の後、清水義博同窓会会長（泉丘22期）や宮崎栄治校長、今年度総会・懇親会運営に当たる村上啓太実行委員長（同37期）、来年度の連和彦実行委員長（同38期）らが順に玉串を

校時代の思い出、各自の近況報告に話が弾み、会場は大いに沸いた。

恒例のビンゴ大会も行われ、最後に一中・泉丘の校歌を全員で斉唱、油省三副会長（同14期）により中締めが行われ、来年の再会を誓い合って大盛況のうちに会を終えた。（小林亘＝泉丘45期・記）

### 30回目の三馬一泉同志会開く



三馬一泉同志会の30回目の総会・懇親会が7月2日、金沢市野町4丁目の料理割烹「むとう」で開かれた。今年の出席者

は10人と少なかったが久し振りに東京在住の一中50期・堀吉彦さんが顔を見せられ、学校だけでなく昔の三馬地区の話題にも花が咲いた＝写真＝。

私・北島が司会、総会で再任された田中一郎会長（泉丘8期）が「地域の小さな同窓会だが、30年も続いていることを誇りに思う。まだまだ続くよう頑張りたい」とあいさつ、堀さんの乾杯発声で懇親の宴となった。自分たちの高校時代の思い出話には笑いが絶えず、後輩たちの活躍ぶりに話が進むと「すごいぞ」「一中時代に負けないぞ」との声が聞かれ、母校支援の心の高まりと共にお酒が一段と美味しくなり、盃が進んだようだった。（北島敏男＝泉丘8期・記）

捧げた。

一中関係者では56期卒業生で元母校の教諭だった普神貴行さん一人だけ



だけが、今年も元気に出席された。

株式会社 北國新聞社

〒920-8588 金沢市南町2番1号  
TEL (076)263-2111

KKJ 金沢カッコいい女子の会

代表 大砂 雅子 (一泉同窓会副会長 泉丘26期)

E-Mail : osuna@kanazawa-kkj.jp  
H P : www.kanazawa-kkj.jp

人・愛・信頼の街づくりを…

Alice アリス学園グループ

(学)理事 長 竹澤 敦子 (一泉同窓会副会長 泉丘29期)  
(福)理事 長 竹澤 結花 (泉丘57期)

〒921-8176 金沢市円光寺本町8-50  
TEL (076)280-1001 FAX (076)272-8180

一中・泉丘 各期の集い①

◆ 2年ぶりに関東ふくせん会（泉丘6期）が集う

関東ふくせん会（泉丘6期有志の会）が10月23日の午後、東京・文京区のホテル椿山荘のレストラン椿堂で2年ぶりに開かれた。首都圏12人（うち女性7人）、金沢からの私・6期代表幹事の辻ら6人の18人が出席して美味しいお酒と石焼料理を楽しんだ。

初めに関東の高浪之雄幹事が歓迎のあいさつ、続いて私が開催準備をしてくれた関東の級友らにお礼の言葉を述べ、高浪君の乾杯の音頭で酒宴となった。同期の集いはいくつになっても良いもので、82、83歳の年齢も忘れて思い出話を花を咲かせ、予定の2時間があっという間に過ぎた。

庭園の散策後も別れ難く、二次会は同荘内の喫茶ルームでアフターティーとしゃれこんで、また1時間半ほど話し込んだ。（辻貞夫・記）

◆ 泉丘7期が2年連続で復活同窓会

一旦解散した泉丘7期の第2回復活同窓会・仲良し会が2年連続で6月1日、粟津温泉「のとや」1泊で開かれ、25人（男15人、女10人）が出席して旬の加賀料理と思い出話を楽しんだ＝写真＝。



亡き級友に黙祷を捧げ、代表幹事の私・加茂が「元気に参加できたことを喜び合おう」と歓迎のあいさつをし、木村晋亮君の乾杯の音頭で酒宴に入った。懇談当初は欠席した友の話だったが、いつものように高校時代の話になると次第に盛り上がり、瞬く間に3時間余りが過ぎた。

会場を変えての二次会に移り、話とカラオケでさらに2時間を過ごし、来年の再会を誓ってようやく就寝となった。翌日になっても別れ難く、金沢駅前のホテルで昼食会を開催、15人が参加した。（加茂正則・記）

トピックス

金沢市が制定する第46回（平成30年度）泉鏡花記念市民文学賞に新田泰久さん（泉丘2期、元泉丘高校教諭）＝写真＝の詩集「新田泰久詩集 夢の祈り」が決まり、10月21日、市民芸術村のパフォーミングスクエアで山野之義市長（同32期）から正賞（八稜鏡）と副賞の30万円が贈られた。

新田さん(泉丘2期)に鏡花市民文学賞

受賞作は、認知が難しくなった妻の美しさなどを織り込んだ「遺書」というと大げさだが、父と母が晩年どのように暮らしていたかを子どもたちに書き残したかった」と述べた。



症を患い意思疎通との日常を、自然り込みながら端正な言葉で描いたので、新田さんは

◆ 4月恒例の関東八泉会に17名集う

毎年恒例の関東八泉会が4月4日、東京・市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」7階「白山の間」で開かれた。金沢から福田太睦八泉会代表幹事、兼田泉君、私・茶屋勝也の3名が出席、総勢17名が集まった＝写真＝。

幹事の荒木二夫君の挨拶に始まり、福田代表幹事の挨拶、川島博哉君の乾杯の音頭で懇親会が始まった。鷺田巖君の司会進行で全員がスピーチし、和気藹々の2時間を過ごした。昨年は眼下に展開する「外濠満開の桜」を見下ろしながらの酒宴であったが、今年は既に散った後だった。来年も4月4日に開催することに決まった。（茶屋勝也・記）



賃貸保証は、次のステージへ。



株式会社レグシス

代表取締役 会長兼社長 玉川 昌範 (一泉同窓会 副会長 泉丘31期)

〔金沢支店〕  
〒921-8163 金沢市横川7-35-1 ルミエール横川2F  
TEL (076) 229-7156 FAX (076) 229-7232  
〔本社〕  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-11-2 イトピア岩本町2丁目ビル3F  
TEL (03) 5835-2423 FAX (03) 5835-2424

白樂・加賀雪梅 醸造元

金沢中村酒造株式会社

代表取締役 社長 中村 太郎 (一泉同窓会 副会長 泉丘35期)

本社 〒920-0867 石川県金沢市長土堀3丁目2番15号  
TEL (076) 248-2435 FAX (076) 248-2436

真宗大谷派

臥龍山 徳龍寺

十五世住職 石山 直哉 (一泉同窓会 副会長 泉丘35期)

〒921-8031 金沢市野町2丁目33番1号  
TEL (076) 241-2915 FAX (076) 245-2880



◆関東泉丘9期の傘寿祝賀会に24人出席

4月9日(月)正午から、東京・丸の内の日本工業倶楽部で関東泉丘9期の傘寿を祝う集いが開かれ24名が出席した=写真=。幹事の森井博君が開会のあいさつ。この1年で4人の訃報があり、全員で黙祷を捧げた。

前回幹事の杉原弘泰君が乾杯の発声をして1年ぶりの顔合せとなった。会場は重厚な雰囲気、歴史的有形文化財で、おいしい料理と美酒に酔いながら積もる話に花が咲いた。後半は各々が近況報告をした。最後に幹事が皆の元気な話を受けて「もう歳だから」はやめて、元気なうちにもっと集まりたいので、3年の期間限定で年2回開催を提案した。言い出した責任上、幹事は引き続き森井博君、加藤順子さん、私・西島の3人が担当し、秋も開催することを決めた。記念の集合写真撮影と校歌斉唱で中締めにし、二次会は同会館の喫茶室に席を移し歓談が続いた。(西島幸夫・記)

◆泉丘10期・泉寿会が恒例の温泉1泊同窓会

泉丘10期・泉寿会恒例の2年に一度の温泉1泊同窓会が8月22日、粟津温泉の「辻のや花の庄」で行われ、出席した33人(男20人、女13人)が2年ぶりの再会を楽しんだ=写真=。



記念写真の撮影に続いて2年前の喜寿記念同窓会からこの日までに11人が亡くなり、私・越野の司会で亡

き友の冥福を祈って黙祷を捧げ、村田紀代司会長の歓迎のあいさつ、関東の金子兵衛会長、関西の河島和子副会長から祝辞を兼ねて近況報告があった。

懇親会は加藤美智代副会長が司会、村田会長の詩吟や関東の森礼子さんの歌謡舞踊、空くじなしのビンゴゲームなどを楽しみ、最後に金沢望郷歌と校歌を歌って一次会を終えた。

続く二次会は館内のスナック「花琳」でのカラオケ大会、幹事部屋に戻っての三次会はそれぞれからの報告に花が咲き、日付の変わるころまでにぎわってまだまだ元気なところを見せていた。(越野宗郎・記)

トピックス 泉丘12期の高瀬のぶ江さん(旧姓太田・東京在住)の油絵作品「工場」が、

このほど金沢市役所庁内に掲げられ、訪れる人たちの目を楽しませている。場所は新館3階左側の階段前廊下の壁面。「工場」と題する美しいエメラルドグリーンを基調とした80号の大きな絵で、思わず足を止めたくなる迫力だ=写真=。

54年前、高瀬さんが金沢美術工芸大学の卒業制作で取り組んだ作品で、「市郊外・浅野川沿いにあった工場を、半具象的に描いた」とのこと。在

高瀬さん(泉丘12期)の「工場」登場



学中は高光一也・円地信二両氏指導のもと、将来を嘱望され、卒業後も絵画制作はもとより、絵本、

カレンダーの図案などプロとして広く活躍され、現在に至っている。

「工場」は長年、同美大旧校舎の食堂に飾ってあったが、建物が取り壊された際にしまい込まれたままになっていた。この度久方ぶりに市役所に登場となったもので、ぜひ、ご覧を。

澁谷工業株式会社

常務取締役 澁谷 英利 (一泉同窓会副会長 泉丘36期)

本社 〒920-8681 金沢市大豆田本町甲58  
TEL (076) 262-1202 FAX (076) 223-1795

RYOKI

菱機工業株式会社

取締役社長 北川雅一朗 (一泉同窓会副会長 泉丘39期)  
専務取締役 北川 信重 (泉丘21期)

〒921-8626 金沢市御影町10-7  
TEL (076) 241-1141 FAX (076) 244-6888

金沢信用金庫

きんしん

理事 西井 隆志 (一泉同窓会監事 泉丘39期)

〒920-8710 金沢市南町1-1  
TEL (076) 231-0029 FAX (076) 231-7966

◆泉丘12期・緑窓会が和やかに喜寿記念同窓会

泉丘12期・緑窓会の喜寿記念同窓会が9月25日、金沢ニューグランドホテルで開かれ、3年ぶりの再会を楽しんだ。金沢をはじめ関東、関西、九州など各地から90名が集い、初秋の一夜、和気あいあいのひとときを過ごした。

午後6時、小さめに懐かしい校歌のメロディーが流れる中、全員が着席。林勝一さんの司会進行で、世話人代表の中山信雄会長が「元気に再会できたことを喜びたい」と開会のあいさつ。物故者98名(卒業531名中)に黙祷を捧げた後、林道子さんが歌うシャンソン2曲が披露され、卒業58年の過ぎし歳月と亡き級友を偲びつつ美しい歌声に聴き入った。

続く懇親会では飛田秀一北國新聞社会長の発声で乾

杯。司会の巧みなトークと和やかな歓談の合間には、「お久しぶりです、お元気でしたか？」のDVDが映し出され、会の雰囲気は約60年の時空を超えて一挙に高まった。懐かしい高校時代を共にしたもの同士、過ぎてきた昭和と平成の時代を振り返り、みんなそれぞれの思い出話に花が咲いた。高校同期の縁が互いに70代の今日まで変わらぬ絆となって続いてきたのも、歴代のお世話役と会員の温かい協力のたまもの。

遠路駆け付けてくれた各地代表のあいさつが行われ、やがて肩を組み合つての校歌や応援歌、定番の「星影のワルツ」の合唱へと盛り上がった。8時30分、名残を惜しみながらの閉会となり、その後、恒例の二次会へと熱気のさめぬまま、時間を忘れての親睦交流に話題は尽きなかった。(小林弘子・記)



◆泉丘15期の2年ぶり同窓会に41名出席

泉丘15期の同窓会が8月11日、金沢駅前のホテル金沢で開かれた。2年前の同ホテル開催時より17名少ない41名の集まりだったが＝写真＝、今回は飛び入りや初参加者もあってユニークな顔ぶれとなり、テーブルもこれまでのクラスごとからフリーに改めて懇親を深め合った。

最初に中村進代表が歓迎のあいさつを述べ、この2年間で亡くなった12名の級友に黙祷を捧げて冥福を祈った。続いて一番遠くから参加の坪野英樹君(神戸市)の乾杯の音頭で酒宴に入った。懇談の合間に今春の叙勲で旭日双光章を受賞された医師の山崎軍治君からお礼の言葉もあって、会場は華やいだ。最後に幹事の私・草野が2年後の再会を呼びかけ、一本締めで閉会した。

同ホテル16階のラズベリーでの二次会にも35名が参

加、さらに盛り上がった。その後も街へ繰り出し三次会、四次会組もいた様だ。(草野輝久・記)

◆関東泉丘16期、「氷室開き」日に同期会

関東泉丘16期の同期会が梅雨明けの7月1日、東京・有楽町の「さがみ」で開かれた。金沢からの広瀬靖久代表幹事と八田伸一幹事の2名を加え19名が出席した＝写真＝。

この日は「氷室開き」の日。金沢からのお土産と東京で用意した「氷室饅頭」がぶつかってビックリ。会は藤村治憲代表世話人のあいさつに続き、宮島宣昭君の饅頭を掲げての乾杯で始まった。金沢の広瀬、八田両幹事からもあいさつをいただいた。その後、出席者の近況報告が続き、写真担当の鍋木絏一郎君が中締め



のあいさつをして閉会となった。二次会も盛

会で、三次会に行く人もあった。人数は少なかったが金沢からのご両人のホットなあいさつもあり、例年よりふるさと・金沢色の強い会となった。

「三色の 氷室まんじゅう 同期会」 宮島 千生 (石垣英治・記)

**北菱電興株式会社**  
HOKURYU

取締役 小倉周一郎 (一泉同窓会 相談役 泉丘7期)  
相談役 小倉 一郎 (泉丘40期)

代表取締役社長 小倉 一郎 (泉丘40期)

本社 〒920-0362 金沢市古府3丁目12番地  
TEL (076) 269-8500(代) FAX (076) 269-8501

**カタニ産業株式会社**

代表取締役社長 蚊谷 八郎 (一泉同窓会 相談役 泉丘14期)

本社 〒920-0910 石川県金沢市下新町6番33号  
TEL (076) 263-6111 FAX (076) 222-3433

一泉同窓会 副会長 至極明子 (泉丘34期)  
一泉同窓会 事務局長 諸野 普 (泉丘22期)

一泉同窓会 副会長 笠松寿美子 (泉丘通信制41期)  
一泉同窓会 顧問 中山一郎 (泉丘10期)

一泉同窓会 監事 広多清一 (泉丘29期)  
一泉同窓会 相談役 普神貴行 (泉丘2期)

◆63名出席で賑やかに20回目のおはこ会

昨年の古稀記念同窓会に引き続き、今年も元気で20回目のおはこ会（泉丘18期）同窓会が6月9日、金沢東急ホテルで開催された。楠禎一郎先生、普神貴行先生の2名の恩師にご臨席頂き、合計63名の賑やかな同窓会となった＝写真＝。

はじめにこの1年間に物故となられたことが確認された6名の仲間に全員で黙祷を捧げ、荒磯千舟君（おはこ会代表幹事）の開会あいさつ、並びに楠先生の声高らかな乾杯のご発声で宴会に入った。酒宴が待ちきれない感じですぐに会場は賑やぎ、久しぶりの元気な再会を喜び合った。



酒が回った頃、山本星子さんが日本舞踊を披露。舞踊のMCは原俊道君が担当してくれた。再び懇談が続いたあと中締めに入り、元応援団の笠間啓、白髭文雄両君のエールと旗のもと、全員で校歌を合唱した。次回幹事となる11Hのメンバー全員の紹介のあと、新村康二君（一泉同窓会副会長）があいさつをして楽しい会を締めくくった。

その後、隣の宴会場の二次会に。31名が参加してカラオケと名残り尽さない語らいと心地よい酔いを楽しんだ。十分盛り上がった頃、お元気な恩師にご健勝をお祈り申し上げ、前回から1年分歳を重ねた仲間たちと元気な再会を約束し、同窓会はお開きとなった。

今回は10Hが担当幹事を務め、浜本晨二第20回おはこ会代表幹事はじめ8名の仲間で準備と運営をさせて頂いた。至らない点はどうかご容赦を。快くご協力頂いた女性会員の皆さまに感謝。（西村憲一・記）

◆泉丘19期の古希記念同窓会に31名集う

泉丘19期の古希記念同窓会が8月14日夜、金沢駅前のホテル日航金沢3階の中宴会場・孔雀の間で開催された。2年ぶりの開催で31名が出席して旧交を温めた＝写真＝。



関東・関西は無論、遠く北九州市からの参加者もあり、いつものことながら高校時代の思い出話や近況報告で話の輪が広がった。校歌を斉唱して一次会を終え、二次会は同ホテル1階のロビーラウンジ「ファウンテン」に場所を変えて行い、再び話が盛り上がり、時間超過の盛会ぶりだった。（北市芳雄・記）

◆泉丘21期が卒業50周年記念同窓会

泉丘21期・泉郷会の卒業50周年記念同窓会が8月11日、金沢ニューグランドホテルで開かれた。3年ぶりの同窓会で旧盆休みを利用して全国からの87人が出席、旧交を温めた＝写真＝。

初めにクラスごとに分かれて記念撮影、次いで山本隆文君の司会で亡き級友に黙祷を捧げ、柏野博英会長の歓迎のあいさつと乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。それから約2時間、ひたすら飲んで食べ、いつものことながら高校時代の思い出や近況報告に花が咲いた。

最後に校歌を斉唱して一次会を終えた。同ホテル最上階「ロワ」に会場を変えての二次会に



もほとんどが出席、再度話の輪が広がった。

翌12日には金沢セントラルカントリークラブで記念ゴルフ大会が開かれ、4組16人が参加して再度親交を温めた。（北川信重・記）

おんま耳鼻咽喉科クリニック

院長 荒館 宏 (泉丘33期)  
医学博士

〒921-8045 金沢市大桑2-308  
TEL (076) 225-4187 FAX (076) 225-4188  
<http://www.onma-ori.net>

Kanematsu Steel  
松 カネマツ鋼材株式会社

専務取締役 今井 朋人 (泉丘33期)

〒924-0051 石川県白山市福留町222番地  
TEL (076) 277-1231 FAX (076) 277-0151

\*クローバーラジオパーソナリティ  
(埼玉県志木市のコミュニティFM)  
\*「すぐにちよっとうまくなる」話し方講師  
「話す」ことなら何でもご相談ください！  
OEVoice(おーいいボイス)  
代表 大田 英司(泉丘33期)

全国どこからでも聴けます！  
番組内容、聴き方はこちらを見てください！  
(ブログ): <https://ameblo.jp/ohta18651/>



◆泉丘29期の還暦記念同窓会に89人集う

泉丘29期の還暦記念同窓会が11月3日、粟津温泉の「法師」で開かれ、全国各地から駆け付けた89人が元気で再会を喜び合った＝写真＝。

広多清一君の司会で、亡き級友17人に黙祷を捧げて冥福を祈り、川北哲会長が歓迎のあいさつを述べ、小浦寛君の発声で乾杯して酒宴となった。



前回同窓会がいつだったか思い出せないほど久々の開催で、各人の名前と顔が一致せず、歓談タイムが自己紹介の場となった。多人数クラスは代表がクラスメイトを紹介、少人数クラスはひと言あいさつが続いた。校歌を歌い鍋谷有介君の中締めで一次会を終えた。

会場をホールに替えた二次会でも、カラオケ組より歓談組が多く、思い出話や近況報告がいつまでも続いた。(地野信介・記)

○…一泉同窓会の中には年に何回か同期のゴルフコンペを行っている期が多いが、泉丘33期は5年前から文系と理系の対抗戦形式で期の結束を強めるのに役立っている。

○…平成30年度は8月12日に金沢リンクスゴルフ倶楽部で実施、文理とも6人ずつが参加した。結果は高校時代にバレーボール部のエースとして

**トピックス 33期のゴルフは文理対抗戦**

鳴らした理系の中橋隆文君が個人戦（バスグロ、ハンデ戦とも）を制し、団体戦はチームワークの良い文系が昨年に続いての勝利となった。

○…参加人数の多い方に合わせるのが条件で、毎年新メンバーが登場するのが楽しみ。プレー中はいやが上にも対抗心丸出しになるが、打ち上げは思い出話に花が咲き、同期生ならではの光景に。

◆泉丘30期・泉心会が4回目の集い

平成23年に一泉同窓会の総会・懇親会の主幹事を務めたのを機に活動を活発化した泉丘30期・泉心会の第4回総会・懇親会が8月12日、ホテル金沢で60人が出席して開かれ、旧交を温めた。

わが期の集いの特長は懇親会の前に勉強会（卓話会）を行っていることで、今回は小林製作所社長の小林靖典君（37ホーム）を講師に迎え、独自の映像技術を活かした事業戦略に興味深く聴いた。2年後の次回は、法曹界で活躍する同期生を卓話者に迎える予定。

一方、懇親会もいつものようににぎやかで、大半の人たちは話足りずに二次会でもう一度盛り上がり、熱く燃えた夜は瞬く間に過ぎた。(山上公介・記)

◆泉丘34期が6年連続の旧盆同窓会

泉丘34期の同窓会が8月12日、金沢東急ホテルで開かれた。地元をはじめ全国各地から旧盆休みを利用して帰省した級友32人が再会を懐かしんだ＝写真＝。



昨年に引き続き石川県最高峰のブドウであるルビーロマンが当たるゲームで盛り上がった。全員が主役の同窓会として2013年から毎年開催しているが、今回が初めての参加者もあり、高校時代の思い出話や近況、老後のことなどみんなの会話が途切れることのない楽しい会となった。還暦を迎える5年後に「還暦大同窓会」の開催を約束、元気で再会しようと誓い合った。が、しかし、「継続継続こそ34期の財産、同窓会は毎年開催すべき」との声が上がり、わが期の絆の強さに応えるため幹事は連続開催を検討することになった。

当日は同ホテルで泉丘24期有志がゴルフ会後の懇親会をしておられ、あいさつさせていただき、先輩からも励ましのエールをもらい、一泉同窓会の絆の強さと伝統の重さを感じた一日だった。(至極明子・記)

**メロディ薬局**

薬剤師 **金谷 まさみ** (泉丘33期)

〒921-8047 金沢市大豆田本町口37  
TEL(076)292-2090 FAX(076)292-2093

**きた眼科クリニック**

院長 **北 勝利** (泉丘33期)  
医学博士

〒929-1177 石川県かほく市白尾150番1  
TEL(076)283-1515 FAX(076)283-1129

**北島** <sup>F</sup>ファイナンシャル<sup>P</sup>プランナー  
社会保険労務士 **事務所**

C F P 特定社会保険  
労務士 **北島 洋一** (泉丘33期)

〒920-0856 金沢市昭和町14番8号  
TEL(076)222-8056 FAX(020)4665-2166

一中時代の直木賞作家 杉森久英さん

母校・金沢一中、泉丘高校出身の小説家と言えば、伝記作家の第一人者で昭和37年（1962）、島田清次郎の短い生涯を描いた『天才と狂人の間』で第47回直木賞を受賞した杉森久英（すぎもり ひさひで、一中36期）さんと、『服部半蔵』などの時代小説家・戸部新十郎（とべ しんじゅうろう、同51期）さんがあげられる。が、ここでは七尾市出身の杉森さんがなぜ一中に学んだのか、どんな一中生だったのかを、同市の「杉森久英記念文庫活用研究会」の皆さんや、一泉同窓会資料室から探ってみた。

× ×

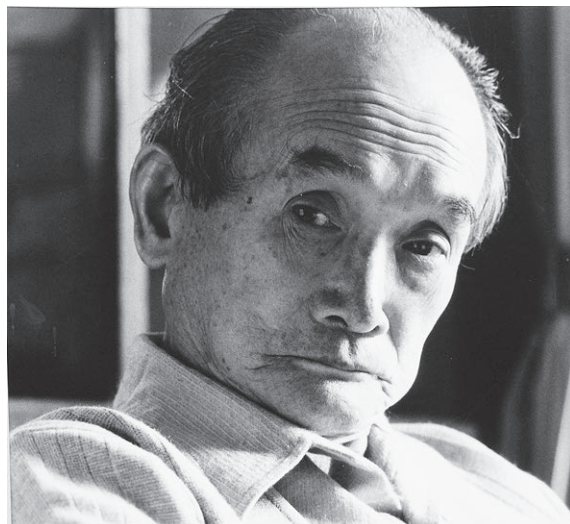
研究会の小林良子さん（81）、向田博一さん（70）、久川裕恵さん（67）によると七尾時代の杉森少年はおよそ次のようだ。明治45年（1912）3月23日、七尾市内で父・杉森廣吉と母・よ祢の長男として生まれる。父は県庁役人（鹿島郡役所勤務）、母は小学校教師の公務員一家である。大正7年4月（6歳）、七尾男児尋常高等小学校に入学した。勉強は母の指導でよくできたが、釣りが好きで毎日川や海に出かけ、中学3年まで続いていたようだ。

同11年（1922）3月、母が教師を辞したのを機に父の転勤先の金沢市角場川岸（現在の菊川1丁目か城南2丁目）の県庁官舎に転居した。同13年（1924）3月に菊川町尋常高等小学校を卒業、4月（12歳）、金沢一中に入学した。

### 成績よいが体操と武道は苦手

一泉同窓会資料室に保管されている同年の「学友区名簿」と「生徒名簿」に杉森少年の名が見られる。学友区は第4学区（菊川、台所）で一之三、杉森久英、角場川岸町30、父杉森廣吉とあり、「生徒」の1年3組（担任・日野康則教諭）の頁に51人中2番目（当時の名簿は成績順）にその名がある。同級生は4組181人。

同14年。一中の2年3組（担任は国漢の杉山外四史郎教諭）で学友区は同じだが下本多町6番町（現在の本多町3丁目）の官舎に変わって学校が近くなる。生徒名簿は49人中の6番に下がっている。体操と武道が嫌いで内気な性格。近くの県立図書館をよく利用して



杉森久英さん74歳の時の写真  
|| 七尾市立図書館提供

いた。同15年・昭和元年の3年次は2年と同じだが、「校友会誌」第106号に『金澤市祭』を投稿、後々の物書きを思わす出来事となる（11頁に原文掲載）。

昭和2年（1927）、4年生。「生徒名簿」では4年

## 作家への道は担任の影響か？ 3年の時、同窓会誌に随筆投稿

3組で47人中3番目に杉森の名が見られる。時間割表も残っており、そこには1番目の北川政雄は組長で3番目の杉森は副組長。この時の担任は京都帝大卒の新米・鈴木順一郎教諭。鈴木教諭は大学在学中に自ら作家を志望した人で、授業の合間によく漱石や小泉八雲、トルストイなどの話をした。杉森少年も大きな刺激を受け、大学は文科に入ってできれば小説を書こうと思ったと後に語っている。そして翌昭和3年4月（16歳）、一中本科5年のところを4年で終了、第四高等学校文科甲類（英語を主にするクラス）に入学した。

その後の杉森さんは同6年（1931）3月に四高を卒業、4月に東京帝国大学文学部国文学科に入学（19歳）して同9年に卒業。埼玉県立熊谷中学校、中央公論社などに勤務。戦後は河出書房で雑誌『文芸』編集長。同28年（1953）41歳で発表した『猿』が芥川賞候補になり、本格的な文筆活動を開始して多くの作品を発表した。平成9年（1997）死去。<参考資料：人物書誌大系 22 杉森久英 渡辺美好編、杉森久英著「能登」>

### 医療法人 久保医院

理事長 久保 隆之（泉丘33期）

〒929-1125 石川県かほく市宇野気又183-1  
TEL (076) 283-0017 FAX (076) 283-0190



### 国家公務員 共済組合連合会 北陸病院

肩・肘関節外科、スポーツ医学科  
Core Power Yoga CPY®  
コンディショニング・トレーナー

整形外科 部長 小林 尚史（泉丘33期）

〒921-8035 金沢市泉が丘2丁目13番43号  
TEL (076) 243-1191



株式会社ユナイテッドオフィス

代表取締役 小山 磨千子（泉丘33期）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-35-3  
TEL (03) 6427-5420 FAX (03) 3374-8884  
E-mail: machikok@yamaco.gr.jp

# 金澤市祭

第三學年 杉森久英

朝。目が覚めて第一に思ひ浮べたのは市祭の事だつた。前夜からの寝不足でぼんやりして夢の中に半ば足を突込んでゐながらも封國祭の事を思ひ出してすつかり目が覚め切つたのは遠が僕でなければ出来ぬ事だ。窓を見るときいつものやうなうらうらした日がさしてゐない「おや」と思ふ瞬間ポツリといふ音が聞江る、何だらうと思つて窓を開けると雨垂だ。雨だ。

朝飯を食べながら話をする。お父さん曰く「農家は大喜びだらうな」お母さん「ほんとにねえ」僕「なあーんやだらくさい」「あたいらもなーんおもつしないわ」是は妹の言葉だ次の妹は糞落着で知らん顔してゐる。遅れたので學校へ急いで来た。皆雨の噂で持切つてゐる。四十分授業も雨のお蔭で少しも短いとは思はなかつた。何限目かに法螺の音が微かに聞江た。

晝だ。歸つてから馬鹿々々しくて復習もてにつかぬ、仕方なしに二階で踏反り反つて大文字になつてゐると、妹が四十七士の行列が通つた事を告げた。「成程さつき法螺貝でぶうぶう言つてゐたのは一揆でも起つたと思つたら吉良義央の生首が悲鳴をあけてゐたのか、こりや蓆旗よりも物騒だ」一人言を言ふたが妹に意味のわからう筈がない、變な顔をして下りて行つた。彌彦婆、獅子、仁輪加などは雨にぬれて、斧の銀紙が剥げたり獅子は營養不良のやうに皮が骨にへばり附いたり安白粉の中から青年團幹部の顔が覗いたりいやはや散々の體たらく。しかし御本人一向知らずに僕の家の前など練て行く。如何にも勿体振つて。馬鹿々々しくなつて復習を始めたが一向面白くもない。「糞つ雨の奴二日や三日遅れて降つてもかまはんだらうになあ」こんなところが心から起る。しかし此雨の中を手踊に熱心に見惚れてゐた人も随分有つたげな。

夜が来た。夕飯の最中からぼんぼん花火がなつてゐた。けれど振向きもせぬ。皆喰意地の張つた人ばかりだ。二階へ上つて蒲團にもぐり込む。ドンとなる「そら」急に慌て々窓をあけるけれども花火は流星光底逸長蛇といはんばかりの涼しい顔で消えてしまつた後だつた。こんな馬鹿な事を五六回して自分自ら愛想をつかして寝て終つた、やすらかな夢の國へと。

台湾・烏山頭ダムを築いた八田與一技師（一中11期）の功績を語り継ぐために台南市の嘉南国民小の児童たちが作った絵本の日本語版が完成した。千葉県野田市在住の丸岡昭夫さん（泉丘15期）が同期生らの協力で製作したもので、一泉同窓会も金沢市内の全小学校と市立図書館に配布する手伝いをした。

八田技師の生涯を綴った絵本はA4サイズ、33ページで、各ページに児童たちが描いた素朴な絵が添えられており、2016年に作られた。丸岡さんが絵本の存在を知ったのは翌年の5月。入院先の病院の売店で買った月刊誌に母校の先輩でもある八田技師が今も台湾の人々に愛されているとして、絵本のこと紹介されていた。

## 八田技師絵本の日本語版 泉丘15期の丸岡さんが製作

一泉同窓会が金沢の小学校に配布



完成した八田技師の絵本  
円内は丸岡昭夫さん

日本語版絵本を作って金沢の子供たちに読んでもらい、八田先輩の偉業を学ぶと同時に台湾との交流にも役立てば…。丸岡さんの決心に級友の新羅正弘さんや木村竹芳さんが和訳などを手伝って後押しした。しかし、著作権の問題で手間取った。台湾では外国人に使用許可が下りない決まりだった。

あきらめかけた難題も、昨年夏に解決した。一泉同窓会のつてで知り合った石川県台湾華僑総会の高仙桃会長が直接、台南市の担当者に連絡、特別に絵本を作る許可を取ってくれた。丸岡さんの熱意を理解した台南市側が絵本を400冊作り、費用は丸岡さんが150冊分を負担するだけでよかった。

構想から約2年。この2月中旬に届いた絵本を前に、苦勞のし甲斐があったと丸岡さんは述懐する。

—誠実にして社会に役立つ人間の育成—

Since 1932

学校法人 稲置学園

**星稜 金沢星稜大学**

人間科学部こども学科 教授  
こども学科長  
金沢星稜大学グローバル教育研究所長

清水 和久 (泉丘33期)

〒920-8620 金沢市御所町丑10番地 1

### たきの整形外科クリニック

整形外科・脊椎外科・リハビリテーション科

院長 医学博士 滝野 哲也 (泉丘33期)

〒920-0003 金沢市疋田 2 丁目46番  
TEL (076) 258-9777 FAX (076) 258-2408

### たけうち内科クリニック

内科・消化器内科

院長 竹内 正勇 (泉丘33期)

〒920-0953 金沢市涌波 1 丁目 7-1  
TEL (076) 232-7822 FAX (076) 232-7826  
[http://www.myclinic.ne.jp/tnc\\_7822](http://www.myclinic.ne.jp/tnc_7822)



◆泉丘37期が総会運営の練習同窓会

平成30年秋の一泉同窓会の運営幹事を務める泉丘37期の練習同窓会が8月12日、本番と同じ金沢駅前のホテル日航金沢で開かれた＝写真＝。出席した99人がそれぞれの役割のリハーサルを行って本番に向けての決意を新たにしました。

私・矢部が司会、村上啓太実行委員長のあいさつに続いて受付や動員など各班の班長が作業の進捗状況について報告、頑張っている思い出深い一泉同窓会にしようという誓い合せて酒宴となった。中締め前の校歌斉唱では泉丘だけでなく、練習してきた一中校歌も披露した。

会場を変えての二次会ではいつもの同窓会風景に戻り、思い出話などで盛り上がった。(矢部篤雄・記)

◆泉丘43期の初同窓会に114人が出席

泉丘43期の初めての同窓会が12月30日の午後1時から、金沢駅前のホテルマイステイズ金沢キャッスル1階の「故郷ダイニングまれ」で開かれ、県内だけでな

く正月休みを利用して関東、関西、遠くは九州大分県からの級友114人が出席して旧交を温めた＝写真＝。

八田(福田)有花さんの司会で今回の発起人の山本(高橋)理栄さんがあいさつ、馬場弘勝君の乾杯発声で開宴となった。クラス順にひとり一人の近況報告があり、途中、勝裕陽子さんの司会でロックグループ「水中、それは苦しい」のボーカル・ジョニー大蔵大臣こと大蔵克紀君のミニライブやそれぞれの活躍に触れたが、何しろ28年ぶりの顔合わせなので会場は大いに盛り上がった。

2年後にはさらに大きな会場で恩師の先生方にもご臨席いただき、再会することを誓って代表幹事の私・八田透の一丁締めで閉会した。

場所を変えての二次会にも50人余りが参加、その後もクラス別や部活の集まりがあり、時間がどれだけあっても足りないほどの楽しいひとときを過ごした。

(八田透・記)



関東一泉が4回目の縦糸交流

眼科医の李氏(泉丘30期)がビデオ講演

関東一泉同窓会の第4回縦糸交流企画が12月8日、東京・銀座の銀座貿易ビル6階会議室で開かれた。健康講座の第2弾と忘年会を兼ねての開催で、出席した33人は有意義なひと時を過ごした。



最初に北川

秀二会長(泉丘30期)があいさつ＝写真＝、前半は日本橋で「り・としや眼科クリニック」を開業する李俊哉氏(同期)の「目の健康について」のビデオ講演が行われた。白内障、加齢黄斑変性、緑内障などについて分かり易い説明があり、目の病気についても早期発見が大切だとして、眼科かかりつけ医を作ることが勧められた。

後半は忘年会としてマジシャン小梅さんの楽しいマジックショーで、大いに笑わせてもらった。

金沢から駆け付けた諸野普本部事務局長の乾杯の音頭で懇親の宴が始まり、美味しいワインや料理をいただきながら世代を超えた会話が広がり、最後は関東一本締めでお開きとなった。(徳田智律＝泉丘11期・記)

ごはん屋 はな 

 kitchin hana 

店主 田代 英子 (泉丘 33 期)

〒920-0918 石川県金沢市尾山町 3-2  
南町バス停近く、みずほ銀行裏  
TEL 076-201-8716

医療法人社団 双 星 会 桜井病院

内科 田中 透 (泉丘33期)

〒939-8057 富山県富山市堀30番地  
TEL (076) 425-2070 FAX (076) 425-2079  
<https://toyama-sakurai.com/>

 医療法人社団 慈 聖 会 久藤総合病院

副院長 出口 康 (泉丘33期)

〒922-0024 石川県加賀市大聖寺永町17  
TEL (0761) 73-3312 FAX (0761) 73-3458  
<http://www.jihoukai.net/>

## 文化・運動部 OB 会だより



## 泉丘と八日市、65年ぶり対戦 甲子園出場のOBも応援で交流

昭和28(1953)年の全国高校野球選手権大会で対戦した北陸代表の泉丘高校と京都・滋賀代表の八日市高校(滋賀県)の現役野球部が8月9日、同県東近江市の湖東スタジアムで「再戦」した。八日市高の創立110周年記念事業の一環で、65年前に甲子園に出場した両校のOBたちも応援に駆け付けた＝写真＝。

金沢からの応援団は当時、9番・左翼で試合に出場した徳光重希さん(泉丘6期、82歳)、控えの捕手・田中征治さん(同8期、80歳)、一泉野球部OB会の前会長・宮地治さん(同23期)ら11人。スコアボードに4-1で泉丘が勝った甲子園のインニングスコアが掲示された中で開会式が行われた。

試合は打ち合いになったが泉丘が4-10で敗れた。2回表、泉丘攻撃の前に八日市高吹奏楽部が泉丘高の校歌を演奏、スタンドから大きな拍手が送られた。八日市高は昭和49(1974)年に農業部が分離独立、八日市南高校となったため第2試合は泉丘-八日市南戦が行われ、こちらは7-4で泉丘が勝った。

試合の合間に徳光さんが八日市の甲子園出場選手4人と懇談した。7回表に本塁寸前でタッチアウトされたことを八日市の捕手・市田史朗さんから聞かされ、「あのプレーを覚えていた」と感慨深げだった。

## バレーボール部が70周年祝う 記録誌「青春の歩み」も制作

泉丘高校バレーボール部の創部70周年祝賀会が8月11日、金沢ニューグランドホテルで来賓の宮崎栄治校長や清水義博一泉同窓会会長(泉丘22期)、歴代監督

・顧問ら8人をはじめOB・OG58人の総勢66人が参加して盛大に行われた＝写真＝。

祝賀会は私・山本が司会、まず亡き顧問・監督18人、一中生部員87人、泉丘生部員116人の物故者の冥福を祈って黙祷を捧げた。続いて本江他佳志会長(同19期)が開会のあいさつ、宮崎校長と清水一泉同窓会会長が祝辞を述べた後、本江会長から仙座剛顧問に男女のリベロ用ユニホーム12着と、「心身一如」の校是入り応援旗一張りを贈呈、田村昌俊元監督(同6期)の乾杯の音頭で酒宴となった。

途中、OB部員の中島徹さん(同21期)の率いるジャズバンドの演奏があり、年齢を超えての交流と思い出話に花を咲かせた。中締めは神戸市から出席の最長老・亀田廣さん(同2期)が行い、ジャズバンドに合わせて「高校三年生」と校歌を歌って散会となった。

また、今回は70年間の記録誌「青春の歩み」(A4版、88頁)700部を制作、関係方面に配布した。

(山本武生=泉丘16期・記)



## 泉泳会七士会が1泊で懇親の宴

泉丘高水泳部OB・OGの7期から11期までの集い「泉泳会七士会」の30年度総会・懇親会が4月25日、和倉温泉「のと楽」1泊で開かれた。9期の井田孟氏の世話で千葉県から白尾三樹氏(7期)、三重県からの米田禎男氏(8期)を含む11人が出席した。

参加者は「生き残りゲーム」の勝ち抜き者ばかりで、皆かくしゃくとしており、昔話に花を咲かせ(毎年同じ話をしているのだが、大爆笑の連続)大いに盛り上がり楽しい一夜を過ごした。また、恒例のゴルフコンペは、大雨でずぶぬれになりながらも一中精神でプレーを続け、宿に着くやいなやお風呂に飛び込んで夜の懇親会に備えた。(山口煦子=泉丘8期・記)

「タイル」・「技術」・「工期」で

生涯に誇れる仕事を残す

LIXIL北陸地区特約店



中橋タイル株式会社

代表取締役社長 中橋 隆文 (泉丘33期)

http://www.nakahashi-tile.co.jp

株式会社 中村建築デザイン

一級建築士事務所

代表取締役 一級建築士 中村 克二 (泉丘33期)

■吉祥寺事務所

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-18-6  
TEL(0422)27-2508 FAX(0422)27-2532

■金沢事務所

〒920-0855 金沢市武蔵町14-31 ITビジネスプラザ武蔵内 5B1  
TEL(076)223-3485 FAX(076)224-8788

VOITH IHI

株式会社IHI フォイトペーパーテクノロジー

代表取締役社長 野上 哲彦 (泉丘33期)

〒104-0051 東京都中央区佃2丁目1番6号  
TEL(03)6221-3101 FAX(03)6221-3125  
E-mail:tetsuhiko.nogami@voith.ih.co.jp

## 母校の100回出場祝い懇親会

相撲部 OB 会 卯辰山で応援も

泉丘高校相撲部 OB 会は、母校が第102回高校相撲金沢大会に通算100回目出場するのを祈念して大会前



日の5月19日夜、金沢市北安江3丁目の「旬魚亭」で懇親会を開いて出場選手の健闘を祈

った。会には泉丘10期から40期までの24人が出席した＝写真＝。

魚住昭文さん(24期)が司会、初めに昭和38年の第47回大会で個人優勝した能上(旧姓水本)宏会長(16期)が「明日は卯辰山に出かけて応援しよう」とあいさつ、田中史朗さん(11期)の乾杯の音頭で酒宴となった。旬の魚料理に舌鼓を打ちながら、後輩たちが全国最多の100回出場まで繋いでくれたことを称え、それぞれの時代の大会模様についても話が盛り上がった。最後に校歌を斉唱、魚住さんのリードで「フレー、フレー、いずみ」の大エールを送って会を閉じた。

翌20日の大会当日は相撲部 OB や応援団 OB ら約20人が卯辰山の会場を訪れ、母校の応援席に陣取って生徒たちと一緒に、果敢に立ち向かう選手たちに拍手と声援を送り続けた。

## バスケット OB 会は創部90周年祝う

昭和3年に金沢一中に誕生し、泉丘高校に受け継がれた一泉バスケットボール部の創部90周年を祝う会が

8月11日、母校大会議室で開かれ、OB 会員や現役生ら約80人が出席した。



冒頭、OB

会の八田伸一会長(泉丘16期)があいさつし、「心身一如」の校是を書き込んだ応援垂幕2枚を贈った。続いて同部に所属した衆院議員秘書の白崎勇人さん(同30期)、整形外科医の赤丸智之さん(同39期)、弁護士伊藤円香さん(58期)を講師に招いてパネルディスカッションを行い、部活と勉強を両立するコツや将来の仕事について学んだ＝写真＝。

また、夜にはANA ホリデイ・イン金沢スカイで懇親会が行われ、約60人が参加して交流を深めた。

## 大作の出展多く会場引き立て

一泉桜美会美術展にぎわう

金沢一中と泉丘高卒業生の美術愛好者でつくる「一泉桜美会」の第46回美術展が12月18日から23日まで、金沢21世紀美術館で開かれ、同窓生や現役生に加え多くの市民も鑑賞に訪れ、連日にぎわった＝写真＝。

今回は会員45人から書、写真、版画、ちぎり絵と多彩なジャンルの68点が寄せられたが、新谷光さん(泉丘14期)の80号の油絵「9月を謳う」や日展作家・薄



波靖子さん(同6期)の50号の日本画「様ざま(ネパールの田植)」など50号以上の大作が13点もあり会場を引き立てていた。

一方、一中卒生の出品は51期の朴木春夫さん(92歳、横浜市)一人だけとなったが、中央アジアのウズベキスタンで写した教会の写真「モザイクの極美Ⅰ、Ⅱ」の2作品を出展、まだまだ元気なところを見せていた。

また、在校生は美術部が18人・18点、書道部が5人・6点、写真部が9人で9点を出品したが、何れもレベルの高い力作ぞろいで会員たちに大きな刺激となった。

同会では会員を募集している。入会希望者は泉丘18期の藤島寛仁さん(電話 090-6499-9970)まで。

医療法人社団 アネスティ

### 浜田歯科クリニック

理事長 濱田 久 (泉丘33期)  
歯学博士

〒929-1125 石川県かほく市宇野気子112  
TEL & FAX (076) 283-5582

口腔外科 矯正歯科 美容歯科

きれいな歯 美しい笑顔  
医療法人社団 祥幸会

### ふじい歯科クリニック

理事長 藤井 正行 (泉丘33期)

〒921-8801 石川県野々市市御経塚3-210  
TEL (076) 269-8148

### 松本大建築設計事務所

代表 松本 大 (泉丘33期)  
一級建築士

〒920-0864 金沢市高岡町23-18-1F  
TEL&FAX (076) 222-3800  
E-Mail : info@matsumotodai.jp

## 投稿二題

平成最後の新年を迎えました。平成元年は私が病院薬剤師になって1年目の年でした。それから30年、あっと言う間に過ぎた感じがします。その間、医療に対する考え方も随分変わりました。

薬剤師の主な業務は調剤ですが、最近では病棟や外来で患者さんに薬の説明を行い、患者さんの話を聴いて適切な薬物療法ができていくのかの確認や、薬物療法の支援を行うことも大事な業務になりました。

病院薬剤師になった頃に「アドヒアランス」という言葉を知りました。「アドヒアランス」

は患者が自分の病気や症状を理解し、自分自身が納得して治療に参加すると言う意味で、服従の意味が含まれる「コンプライアンス」に代わって、今では治療を受ける姿勢を表すのによく使われています。「アドヒアランス」の向上を支えることも薬剤師の務めです。

患者さんが病気や薬を理解することで、副作用を未然に防いだりすることができます。また、生活習慣を見直して、改善したりするきっかけになります。しかし、一方で、病気の進行などの不安や、これからの生活や仕事、治療費などの問題を一人で抱え込んでしま

\*\*\*\*\*

昭和の46年と平成の30年を生きて、76年の人生を振り返るとき、自分にも多くの人生のターニングポイントとなる分岐点があった。

その一つが泉丘高で甲子園出場を夢見て、それが断られたことだ。戦後の食糧難時代の小学生の頃からひたすら白球を追っていた私は、美川中学でも勉強より野球一筋の日々だった。運よく中学3年の夏、県下中学校野球大会に石川郡代表として出場した。しかし、投手の自分をはじめ主力選手数名が夏風邪をひいて、一回戦で優勝した七尾東部中学に逆転負けした。昭和33年に泉丘高校に入学してからも野球部に籍を置き、硬式球に慣れ親しむことになった。

当時の泉丘は県内トップクラスの強力打線を誇り、優勝候補の筆頭に挙げられていた。しかも、この夏の甲子園は各県一校が出場できる40回目の記念大会で、絶好のチャンスとばかり全部員が練習に熱が入っていた。相手と目される桜丘高には練習試合で大差で勝っており、誰もが県代表疑いなしと信じていた。毎日の練習は仲間の顔が見えなくなるまで続き、バスと北陸本線の列車を乗り継いでの帰宅は1時間以上かかって夜の9時過ぎ。疲れ切っていて学習意欲は殆どなかった。

大会が近づくと有松会館で合宿、校庭を出て円光寺

## 自分を見直し誰かの支えに

泉丘30期 下川 千賀子



う恐れもあります。そのため、医師だけでなく薬剤師や看護師、心理士、ソーシャルワーカーなど多くの医療従事者が患者を支えていくことも、患者さんにお伝えしなければなりません。

周りのサポートがあるからこそ、自分で考え、自分で納得して治療を受けることができるようになってきたのだと思います。平成時代の大きな変化は医療の中心が「病気」や「薬」ではなく、「患者さん」になったことだと思います。

それでは、病気以外のことではどうでしょうか。例えば自分の仕事や老後のことなども、きちんと自分で考えているのでしょうか。振り返ってみ

れば、これまで幸運にも重大な問題を抱えることなく、安泰に暮らしてきました。自分で決断したと思っていることも実は、家族や友人や仕事仲間の支えがあったからできたのだと思います。

これから、新しい時代を迎えるにあたり、いろいろな情報があふれかえって、何を選択すればよいか迷うことも多いでしょう。色々な人に助けてもらっていることの感謝の気持ちを忘れずに、これからの自分の生き方をもう少し見直して、私も誰かの支えになれるように次の時代を生きていけたらと思います。

## 投稿二題

住宅の横を通り、リンゴ園があった山科方面までランニングした懐かしい光景が目につく。すべてがチームワークづくりと体力強化を図って優勝するためだった。が、またしても夏の県予選は好投手を擁する津幡高校に逆転され、僅差で敗れて涙をのんだ。

その年の秋に野球を続けることを断念、進学受験に切り替える決断をした。下がっていた成績を挽回するのに必死の日々が続いた。列車の中で問題集を広げ、友達と難問を解き合ったことや英語の成績向上のためにとラジオ英会話を聴いたことを思い出

す。母校では商業科が無くなり、普通科一本の進学校となった。確かに我々の時から受験戦争が始まる一期生だったようだ。2年、3年と勉強の成果が出たのか、校内に貼られたテストの成績順位が少しずつ上がって、大学受験が近づく頃には自信が付き、金沢大学の法文学部に合格した。

思えば野球を断念して受験に取り組む決断をしたことが、その後の私の大小さまざまな人生の分岐点ともなって進学、就職、結婚、子どもの誕生、そして退職などにつながって、自分の「今」があるように思えて不思議でならない。

## 高校1年時に人生の分岐点

泉丘13期 田口 功一



## 平成30年度 生き方講演会

泉丘高校の平成30年度「生き方講演会」が10月24日、啓泉講堂にアニメ映画監督の米林宏昌さん（泉丘44期、野々市市出身）を講師に迎えて開かれた。米林さんは全校生徒と父兄ら1300人を前に「人生は失敗の連続だが、失敗を恐れず迷わずに行動することが大切」と訴えた＝写真＝。

「アニメーション映画を作りながら考えたこと」と題して講演した米林さんは、金沢美大2年の時にバイトでアニメに出会った。止まった絵を描くより、絵を動かす楽しさを知ってスタジオジブリに入社したと経緯を語り、2010年に監督した「借りぐらしのアリエッティ」の絵コンテ、下絵などをスライドで示しながらアニメ映画制作の行程と醍醐味を説明し、常に良い映画を作ろうと志を高く持って取り組んでいるとも語った。

### 高校時代に絵の道に進む決心

講演後の質問コーナーでは、テレビ金沢の吉道さゆりアナ（泉丘55期）が司会を務め、生徒会副会長の大宮千和さん（2年）、映画研究同好会の上木詩文君（同）、放送部の畑華穂里さん（同）、アニメ漫画同好会の高島泰貴君（3年）の4人が「制作した映画について、世間の評価と自分の評価に違いがあるか」とか「高校時代の思い出」などについて質問した。

これに対し米林さんは「見る人によって評価が違うのは当たり前。常に考えて仕事をしてい

## 失敗恐れずに迷わず行動を！



アニメ映画監督  
米林宏昌さん（泉丘44期）

### 後輩たちに語りかける

る。最後は映画の神様が微笑んでくれるの待つだけだが、努力を重ねないと振り向いてももらえない」と答え、さらに「どんなに高いモチベーションを持って取り組んでも、時間がかかりすぎでは良い仕事とは言えない。自分なりの課題を持ってスピードを上げ、量をこなすことも必要だ」と述べた。また「高校では理数科で部活は美術部だったが、3年時に野外劇の背景画を描いたころから断然絵の方が楽しくなり、数学の勉強をしなくなった。その時、絵の道に進む決心をした」とも語った。

講演後には「メアリと魔女の花」の主人公、メアリの絵を描いて見せた。ほうきで空を飛ぶ姿があつというまに出来上がり、「今日は泉丘高校に来ることができてうれしかったです！！」とも書き添えられて会場から大きな拍手が送られた。



あつと描き上がった「メアリと魔女の花」の主人公メアリ

### 弁護士法人 金沢合同法律事務所

弁護士 宮西 香 （泉丘33期）

〒920-0931 金沢市兼六元町9番40号  
TEL(076)221-4111 FAX(076)221-4994

### 山本燃料設備株式会社

代表取締役 山本 久雄 （泉丘33期）

〒920-0942 金沢市小立野3-4-23  
TEL(076)262-1265 FAX(076)262-3132

### 株式会社 北陸人材ネット

代表取締役  
社長 山本 均 （泉丘33期）

〒920-0863 金沢市玉川町11-18 新石川ビル7F  
TEL(076)264-3367 FAX(076)264-3368  
URL www.hokurikujinainet.com



OB 講演会から

12人の先輩から進路を学ぶ  
2年生の「社会人と語る会」

各界で活躍する泉丘高校出身の先輩たちを母校に招いて話を聞き、進路選択の参考に平成30年度「社会人と語る会」が11月3日、2年生400人を対象に開かれた。次世代のリーダー養成を目指すために力を貸すことを目的に、一泉同窓会事務局が講師選びに協力、今回も12人の先輩たちが後輩たちのために母校に参集した。

生徒たちは第1志望、第2志望と話が聞けるため、先輩たちは5、6、7限に2度教壇に立ち、パワーポイントなどを使って分かり易く自分の仕事の内容や苦勞、喜びなどを語り、さらに生徒たちに考えてほしいことを「問い」として投げかけた。これに対し生徒たちはグループで話し合い、全体で問題と答えを共有、発表した。最後に先輩から今何をなすべきかが話され、目指す分野に進むための勉強の仕方、大学・学部の選び方にも触れる有意義な機会となった。

講師を引き受けたのは次の皆さん。

◆〈公務員・文系〉石川県東京事務所次長の中谷安孝さん(35期) ◆〈公務員・理系〉復興庁原子力災害復興班・福島地域担当主査(原籍：農水省)の松下雄哉さん(58期) ◆(法律関係)中屋司法書士事務所・司法書士の中屋薫美さん(41期) ◆(国際関係)OECD日本代表部/文部科学省高等教育局私学部私学行政課課長の茂里毅さん(37期) ◆〈ビジネスI〉税理士法人AC代表社員・公認会計士・税理士の横田雅裕さん(30期) ◆〈ビジネス〉EIZO(株)執行役員営業第1部長の比良浄敬さん



中谷安孝さん



松下雄哉さん



中屋薫美さん



茂里毅さん



横田雅裕さん



比良浄敬さん



嶋倉仁志さん



石黒洋さん

ん(39期) ◆〈ビジネスIII〉日本航空(株)運航業務部パイロット人材戦略室長補佐でパイロット採用チーム総括マネージャーの嶋倉仁志さん(39期) ◆〈医療関係I〉国際医療福祉大学教授で医師の石黒洋さん(37期) ◆〈医療関係II〉浅ノ川総合病院薬剤師の新田圭子さん(37期) ◆〈機械・電気・電子系〉小松マテレー(株)第七工場生産課主任部員兼染料役者係長の毛利好広さん(37期) ◆〈建築関係〉清水建設(株)次世代リサーチセンター・ベンチャービジネスグループの田地陽一さん(38期) ◆〈化学・コンピューター〉NECソリューションイノベータ(株)IoT基盤ソリューション事業部IoT基盤ソフトウェアグループ統括マネージャの戸田和成さん(35期)の12人。



新田圭子さん



毛利好広さん



田地陽一さん



戸田和成さん

後日、「大変役に立った」とする生徒の感想文が各講師に送られ、講師陣からも「この学校の先輩でよかった」などとの礼状が多く届いた。

1年生は難関大の先輩に聞く  
13人が各大学の魅力など語る

また、1年生(10クラス、400人)対象の「難関大学進学卒業生と語る会」も同じ3日午後に行われた。東大、京大などに進学した卒業生13人が来校、各クラスで2、3回登壇、それぞれの大学の魅力や学問の面白さ、高校時代の勉強の仕方などについて語った。

大学生講師は次の皆さん。(京都大学工学部の芳井崇悟さんは3年生。ほかは全員4年生)

◆東京大学 鹿島哲彦さん(理科二類・薬)、清水駿太郎さん(理科一類・工)、藤田玲雄さん(文科二類・経) ◆京都大学 芳井崇悟さん(工・電気電子)、矢野智裕さん(工・情報)、浜崎太郎さん(農・食料環境) ◆金沢大学 富沢咲良さん(医薬保健・医)、毎田彩季さん(医薬保健・医)、水野杏里さん(医薬保健・医)、中条裕一さん(医薬保健・医) ◆神戸大学 猪熊咲子さん(発達科学) ◆名古屋大学 小原潤也さん(工・建築) ◆大阪大学 平井杏奈さん(文・英米)

建設機械レンタル・販売・修理

金剛産業株式会社

取締役会長 金岡 則夫(泉丘6期)  
代表取締役社長 金岡 賢二(泉丘34期)  
専務取締役 金岡 哲二(泉丘42期)

金沢本社 〒921-8012 金沢市本江町11-30  
TEL(076)291-5503 FAX(076)291-5502

株式会社  
KDFホールディングス

代表取締役社長兼CEO 金岡 久夫(泉丘12期)

グループ本社  
〒920-0231 金沢市大野町4-レ40-172  
TEL(076)239-2100 FAX(076)239-2110



株式会社 宮地組

取締役会長 宮地 治(泉丘23期)

本社/〒928-0001 石川県輪島市河井町6-35  
TEL(0768)22-1281(代) FAX(0768)22-5956  
金沢支店/〒920-0935 金沢市石引1-15-22  
TEL(076)262-6666(代) FAX(076)231-2003

# おめでとう

## 30年度一泉賞 2人と新聞部に贈呈

平成30年度の「一泉賞」が3月1日の全日制卒業式の席上1人と1団体に、同3日の通信制卒業式で1人に清水義博一泉同窓会会長から贈呈（賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分）された。同6年に創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られる。

今年度の受賞者は次の皆さん。

◆若林 勇太君 日本生物学オリンピック2017の本選に出場、予選からの参加者3849人中、上位80人に入る敢闘賞を受賞した。翌年の同オリンピック2018では40位内に入る銅賞に輝いた。また、2年の理数科で取り組んだミドリムシ研究を生物部の活動に発展させるなど常に積極的で、部員への指示等も適切に行った。



若林 勇太君



新聞部代表  
岡本 龍季君



柳田 莉奈さん

◆新聞部 岡本龍季君が部長の新聞部は、平成29年度の第47回全国高校新聞コンクールで優秀賞（第6位相当）を受賞した。さらに石川県高校新聞コンクールでは平成27年度から4年連続で最優秀賞を受賞し、石川県を牽引する立場となっている。製作面でも年間発行の面数を増やし、「いずみの原」速報発行も増加、速報版は3年間で50号に及んだ。

◆柳田 莉奈さん 通信制に入学して2年次から生徒会活動（会計、3年次は会長）や校内生徒生活体験発表（2年連続優良賞）に意欲的に取り組み、常にリーダーシップを発揮して隅々にまで気を配り、各種行事を成功に導いた。学習態度も真面目で成績優秀。言葉使いも礼儀正しく、他の生徒の模範となっている。

## 母校だより



### 建國中(皐)が2年ぶりに来校

母校・泉丘高と姉妹校の台湾・台北市の建國高級中学校の1、2年生37人が4月16日、2年ぶりに泉丘高校を訪れて秋に修学旅行で訪台する2年生と交流した。

正午前に到着した建國中の一行は、大会議室での生徒会主催の歓迎会に臨んだ。荒木田真衣生徒会長が英語で「皆さんとの交流を楽しみにしています」とあいさつ、建國中の何震璋君も「日本のことや日本の高校

生のことを学んで帰りたい」と英語で答えた。

この後、両校の生徒たちは食堂で和やかに会食、午後は6班に分かれて授業見学やクラス単位の自由交流でけん玉やマスゲームなどを楽しんだ。

秋の再会を約束した建國中生らは、泉丘高のアーチ下で恒例の記念写真に納まり＝写真＝、この日のホームステイ地・福井県の漁村に向かった。

### 北電教育振興財団 プロジェクターを寄贈

北陸電力教育振興財団は平成30年11月19日、泉丘高校に教育用備品としてプロジェクター1台を寄贈した＝写真＝。松田光司石川支店長が同校を訪れ、宮崎栄治校長に目録を手渡した。

宮崎校長は「生徒の発表会や講演会などで大切に使用させていただく」とあいさつ、同席した生徒会の田原功揮さんがお礼の言葉を述べた。



  
**日本海警備保障株式会社**  
 代表取締役 **高見 太郎** (泉丘25期)  
 本社 〒920-0376 金沢市福増町北1377番地 2  
 TEL (076) 255-7711(代) FAX (076) 255-7195  
 H P <http://jsg.client.jp/>  
 E-Mail [jsg01@themis.ocn.ne.jp](mailto:jsg01@themis.ocn.ne.jp)

  
**株式会社 本田工務店**  
 代表取締役 **本田 正敏** (泉丘29期)  
 〒921-8063 金沢市八日市出町75番地  
 TEL (076) 249-6213(代) FAX (076) 240-1510

特許・実用新案・意匠・商標 相談無料  
 米・欧・中・韓・東ア 各国特許事務所と提携  
 **百万石特許事務所**  
 代表弁理士 **海野 徹** (泉丘42期)  
 金沢事務所 〒920-0201 金沢市みずぎ1-230  
 TEL (076) 225-8430 FAX (076) 225-8431  
 URL: <http://100man-pat.jp>

## 平成30年度一泉文庫寄贈・購入本

書名	著者	購入・寄贈者
改訂第四版 ふるさとの風俗誌—昭和初年の松任一	安嶋 彌 (一中47期)	寄贈・吉田艸臣 (泉丘16期)
現代交通論	角本良平 (一中44期)	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
政治学	横越英一 (一中45期)	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
自由の構造	クリスチャン・ベイ著、横越英一 (一中45期) 訳	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
新版 政治学入門	H・ラスキ著、M・ワイト補訂、横越英一 (一中45期) 訳	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
ラスキ 政治学大綱 上・下	横越英一 (一中45期) 訳	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
人間性と人格の理論	芝田進午 (一中54期)	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
日本庶民住居再考 住まいの人類学	大河直躬 (一中54期)	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
東照宮	大河直躬 (一中54期)	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
渚と日本人 入浜権の背景	高崎裕士・高桑守 (守史、泉丘16期) 共著	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
加賀勤王志士夫人・小川直子の生涯 女人天華	村井理朔 (泉丘6期) 夫人・三田薫子	寄贈・村井理朔 (泉丘6期) 夫人・三田薫子
薫子句集 紅恋♡姫	村井理朔 (泉丘6期) 夫人・三田薫子	寄贈・村井理朔 (泉丘6期) 夫人・三田薫子
DVDブック 日本と東アジアへの干し柿探訪—干し柿の文化と生産技術の継承—	林 節男 (泉丘18期)	寄贈・林 節男 (泉丘18期)
おはこ山行会 紀行文 (平成29年)	泉丘18期おはこ山行会	寄贈・泉丘18期おはこ山行会
金沢泉丘高等学校バレーボール部創部70周年記念「青春の歩み」	一泉バレーボール同窓会	一泉バレーボール同窓会
八十路を迎え 一筆啓上	泉丘高校第八期生 八泉会	寄贈・泉丘高校第八期生 八泉会
名門高校100 (金沢泉丘高校など)	猪熊建夫	寄贈・河出書房新社
きがつけば古希を過ぎ 人生の四季を生きる	田口功一 (泉丘13期)	寄贈・田口功一 (泉丘13期)
人生暦 一言一縁 我、生かされてここに在り	田口功一 (泉丘13期)	寄贈・田口功一 (泉丘13期)
新田泰久詩集 夢の祈り	新田泰久 (一中56期、泉丘2期)	寄贈・新田泰久 (一中56期、泉丘2期)

## 人骨標本は一中時代から？ 泉丘高校、警察に鑑定依頼中


校内に人骨標本を保管していた泉丘高校は今年1月11日、石川県教育委員会に届け出ると共に同教委の指示に従い、所轄の金沢中署へ標本を提出した。人骨かどうかの鑑定は県警本部で他校からの依頼と一緒に行的うことになっており、結果が出るまでに数カ月かかる見込み。泉丘では本当の人骨と判明した場合、学校で保存・保管し続けるか、保管しないかまだ決めていないが、保管の場合は金沢市に相談してきちんとした手続きを取らねばならない。保管しない場合でも市に依頼して埋葬する必要が出てきた。

人骨騒ぎが起きたのは二水高校から。生物の教材保管室から頭蓋骨が見つかり、慌てて教育委員会に届け出た。泉丘の場合は4階エレベーター室横の生物資料

保管室内のきちんとしたガラスケースに入れられて、全身骨格の標本1体と頭蓋骨1つが保管されていた。同ケースの中には子どもの人体模型1体と猿の骨格標本も1体入っていた。

これまでに人骨標本が見つかったのは泉丘、桜丘、二水、盲学校といずれも金沢市内の県立4校のみで、合計10点。

泉丘によると同標本は備品台帳に記載がなく、入手の経緯や時期は不明だが、かなり古いものらしい。泉丘2期の普神貴行さんは一高2年(昭和23年)の時の生物の時間に、先生が全身骨格標本を使って授業された覚えがあると言い、泉丘11期の島田裕昌さんも生物準備室のガラスケースの中にあつたのを見ていると証言する。その後の卒業生も見た人が多く、古く一中時代から教材として授業で使われていた可能性が高いと思われる。



**株式会社 山越**

代表取締役会長 **山越 昭雄** (泉丘11期)

本社 〒920-0001 石川県金沢市千木町70番1  
TEL: 076-257-9101 (代表)

東京営業所 〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目12番6号 国際芝浦ビル7階  
TEL: 03-6435-3377

お客様と共に 時代に即した価値向上を目指します



**株式会社 橋本確文堂**

取締役会長 **橋本 勝郎**  
(泉丘12期)

金沢本社 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10  
TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945

東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12  
TEL: (03)5472-7030 FAX: (03)5472-5101

[www.mba.co.jp](http://www.mba.co.jp)

## 活躍する後輩たち

### 東大に18人、京大に17人合格<sup>(30年度)</sup><sub>(前期)</sub>

東大、京大など国公立大学の平成30年度入試前期合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に18人（現役9人）、京大に17人（同7人）が合格した。東大の合格者数18人は過去3番目に多く、また、現役合格者のうち1人（一泉賞受賞の若林勇太君）が農学部にて初めて推薦入試での合格者となった。

難関2大学の合格者数を他高校と比べてみると石川県では今年度も小松（東大3人、京大7人）や金大附属（東大4人、京大5人）を圧倒的に上回り、富山県の富山中部（東大16人、京大4人）、高岡（東大8人、京大3人）、富山（東大6人、京大1人）をも大きく上回った。

その他の難関国公立大では阪大に26人、神大14人、名大9人、北大8人、東北大7人、東工大に3人が合格した。

なお、金大には63人（現役47人）、うち医学部医学科には15人（同4人）が合格した。医学科全体の合格者は16人（同5人）であり、このうち東北大に現役1人が合格した。

### ESSの原さん、スピーチ1位

第57回石川県英語スピーチコンテストが1月27日、金沢市のリファールで行われ、ESS部の原みゆうさんが1位、松本真左子さんが3位、中森寧々さん（いずれも24H）が4位になった。



左から4位の  
中森寧々さん、  
3位の松本真左子  
さん、1位の  
原みゆうさん

原さんは自分を過大評価しすぎると他人とのコミュニケーションがうまくいかない場合がある。その解決方法を考える—という内容のスピーチをした。そして「日頃の練習が実ってうれしい。今後も部員全員で頑張っていきたい」と笑顔で話した。

#### ◆小田原君が短水路50<sup>メートル</sup>自由形で県高校新

2018年度石川県短水路選手権水泳競技大会兼第41回全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会県予選の第1日は2月10日、金沢プールで行われ、一般男子50<sup>メートル</sup>自由形で泉丘2年・金沢SC三十苜所属の小



田原康祐君＝顔写真＝が23秒24の県高校新をマークして優勝した。小田原君自身が昨年の大会で出した県新を0秒19短縮した。

小田原君は5歳から水泳を続けており、この日は予選を4位通過、決勝で好タイムを出した。



### 登山部は県大会で3連覇

泉丘高校登山部は5月31日から6月2日まで、白山山系で行われた平成30年度のインターハイ県予選で優勝、8月3日から7日まで三重県鈴鹿山系の全国大会でも近年最高の15位に入った。県予選は3連覇。

3年生の新濃慶弥君、岸海都君、2年生の宮北蒼大君、四谷仰君の4人＝写真＝で①体力、持久力②技術（テント設営、炊事力）③知識（気象、救急、自然、地図を読む力）の3ポイントで100点からの減点方式で厳しいチェックを受ける。

同校チームは大乗寺山などで厳しい練習を行っており、秋の新人大会（9月13～15日、白山）も優勝した。

### 〈編集後記〉

一泉同窓会の会報「一泉」は今46号からA4サイズに改めた。官庁の公文章や企業の書類がA4になって久しく、いささか遅れた感じがしないでもない。

A判は、19世紀末ドイツの物理学者オズワルドによって提案されたドイツの規格で、面積が1平方メートルの「ルート長方形」をA0と定めた国際規格。A4はその16分の1。長さで言えば縦210<sup>ミリ</sup>×横297<sup>ミリ</sup>。メリットは、原材料が一つのサイズで賄え、どの大きさを作るにしても裁断にロスが出ないとか。

講釈よりも使い勝手が大切だ。「一泉」は従来の24頁から20頁に減らす一方、一行20文字を24文字に、さらに天地43行を49行に拡大した。結果は写真が大きくなりがちで記事を圧迫、編集に苦勞した。次号ではもう少し工夫を凝らしたい。  
(N)

#### 「一泉」編集室

中山一郎（泉丘10期） 浅香以都子（同10期）  
小林弘子（同12期）  
題字・普神貴行（一中56期・泉丘2期）